

パーソナリティ・アセスメント<入門>

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111

期 日：2017年12月2日(土)・3日(日)

受講対象：臨床心理士・スクールカウンセラー・相談員・看護師等、またはそれらを目指している方、病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設の各現場に関わっている専門家、及び興味のある方で以下のテストについて学ぼうとする初心者

定 員：80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

会場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
 東京都豊島区高田3-19-10 ☎03-3986-7021
 JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

心理臨床の現場で心理アセスメントに求められているのは、クライアントが抱えている心理的問題を個別に的確に理解することです。そのためには、クライアントひとりひとりに適した、かつ推測される心理的問題の解決に役立つ心理テストを選び、多面的・多層的に理解することが必要です。しかし残念ながら、複数の心理テストを本格的に学び実習するような研修の機会はなかなかありませんでした。そのため本財団では、「ロールシャッハ講座」のほかに、2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、心理臨床で採用されているさまざまなテストを順次取り上げる研修講座を始めました。「入門講座」では、初心者を対象に基礎的知識の提供を行ってきました。

今回も心理臨床の場で広く採用されており、またその修得にはていねいな学習を必要とするSCTを1年ぶりに取り上げました。SCTは、本講座では入門講座と中級講座でほぼ隔年ごとに開講しております。また、日本における使用頻度は描画法の中では、バウムテストと並んで日本でもよく用いられている描画法である風景構成法をテーマの一つとして取り上げました。風景構成法はご存知のように日本で開発された描画法で、アセスメントとしてだけでなく、治療的アプローチの一つとしても採用されています。そして、残念ながら日本では採用率が低いのですが、国際的には幅広く採用されているTATを企画しました。実施に時間がかかるといった誤解もあるかと思われそうですが、ナラティブ・アプローチとしても関心が向けられているテストでもあります。特定の心理テストではなく、心理臨床の場で話題となっているテーマを毎年開設しておりますが、今年度は受講生からの要望の高い、心理アセスメントの学び方について講師の体験を基にお話しいただくとともに、活かし方ということでテスト・バッテリーについて解説いただくことに致しました。講師の先生は心理臨床の現場でご担当の心理検査に豊かな経験のある方々です。受講者の皆さんには、本講座を通して、各心理テストの臨床的効用と限界を理解し、レポーターを広げるきっかけとなっていただければ幸いです。

	日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
プログラム	12月2日(土)	13:30~15:00	心理アセスメントをめぐって(総論)	放送大学 客員教授 小川 俊樹
		15:15~17:15	SCT	大妻女子大学 名誉教授 深津 千賀子
	12月3日(日)	9:30~11:30	風景構成法	国土館大学 特任教授 中込 四郎
		12:30~14:30	TAT:物語分析入門	明治大学 教授 高瀬 由嗣
		14:45~16:45	心理アセスメントの学び方・活かし方	東洋英和女学院大学 教授 角藤 比呂志

※時間割・テーマ等については、多少異なる場合があることをお含みください。